

富山県IoT推進コンソーシアム会員へのアンケート結果<R6.9実施>

1 調査の目的

会員企業のIoT導入状況やニーズ等を的確に捉え、今後の事業に活かすことを目的としてアンケート調査を実施するもの

2 調査対象

富山県IoT推進コンソーシアム会員企業 343社(産業団体等は除く)

3 有効回答数・回答率

調査対象件数：343社(R5:327社)

有効回答件数：131社(R5:126社)

有効回答率：38.2%(R5:38.5%)

4 調査期間

令和6年8月23日(金)～令和6年9月13日(金)

5 回答者の構成

経営者：38名(29.0%)

管理職：62名(47.3%)

実務担当者：31名(23.7%)

6 回答者が所属する企業の業種

製造業	76社(58.0%)
卸売・小売業	18社(13.7%)
情報通信業	14社(10.7%)
建設業	6社(4.6%)
その他サービス業	5社(3.8%)
運輸業・郵便業	3社(2.3%)
金融業・保険業	2社(1.5%)
学術研究、専門・技術サービス業	2社(1.5%)
その他	5社(3.8%)

7 回答者のIoT・AI導入に関する立場

プロジェクト担当者：28名(21.4%)

プロジェクト責任者：18名(13.7%)

導入予算責任者：18名(13.7%)

導入意思決定者：47名(35.9%)

その他：20名(15.3%)

8 回答者が所属する企業の従業員規模

20人以下	17社(13.0%)
21人～100人	52社(39.7%)
101人～300人	26社(19.8%)
301人～	36社(27.5%)

9 回答者が所属する企業の資本金規模

～100万円	1社(0.8%)
101～500万円	5社(3.8%)
501～1000万円	17社(13.0%)
1001～5000万円	44社(33.6%)
5001～1億円	29社(22.1%)
1億円～	35社(26.7%)

10 回答方法の内訳

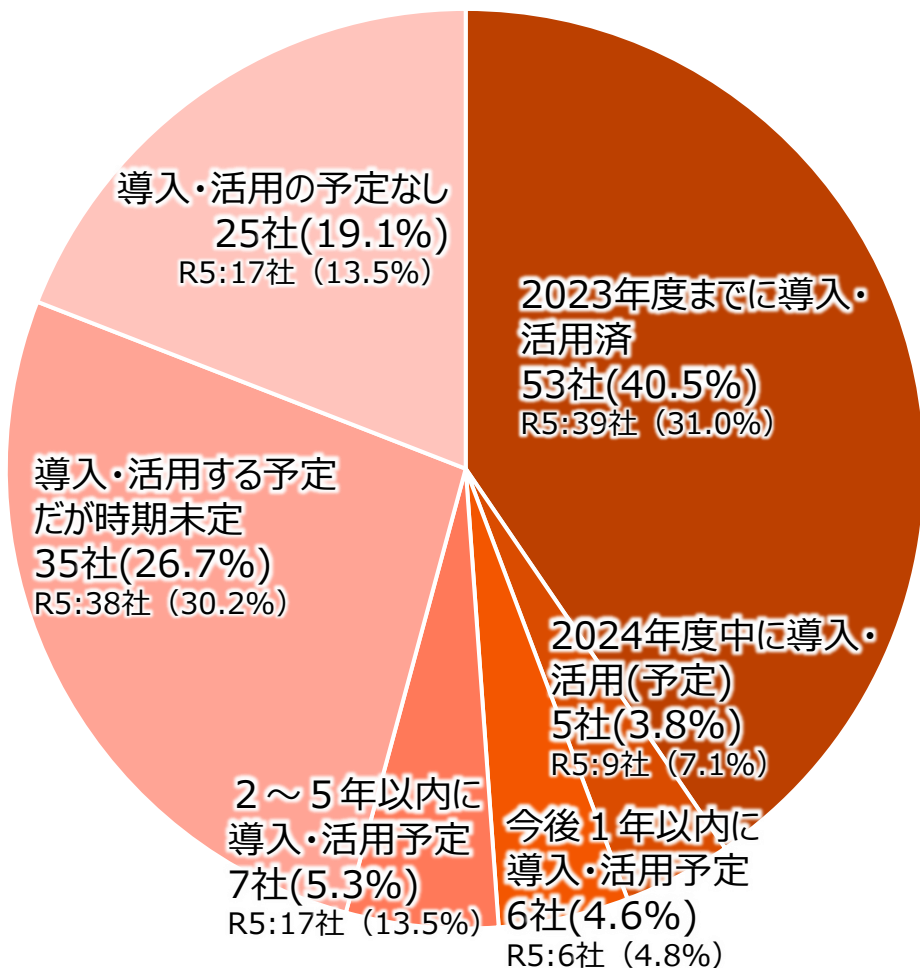
オンライン回答：130社(99.2%)

郵送：1社(0.8%)

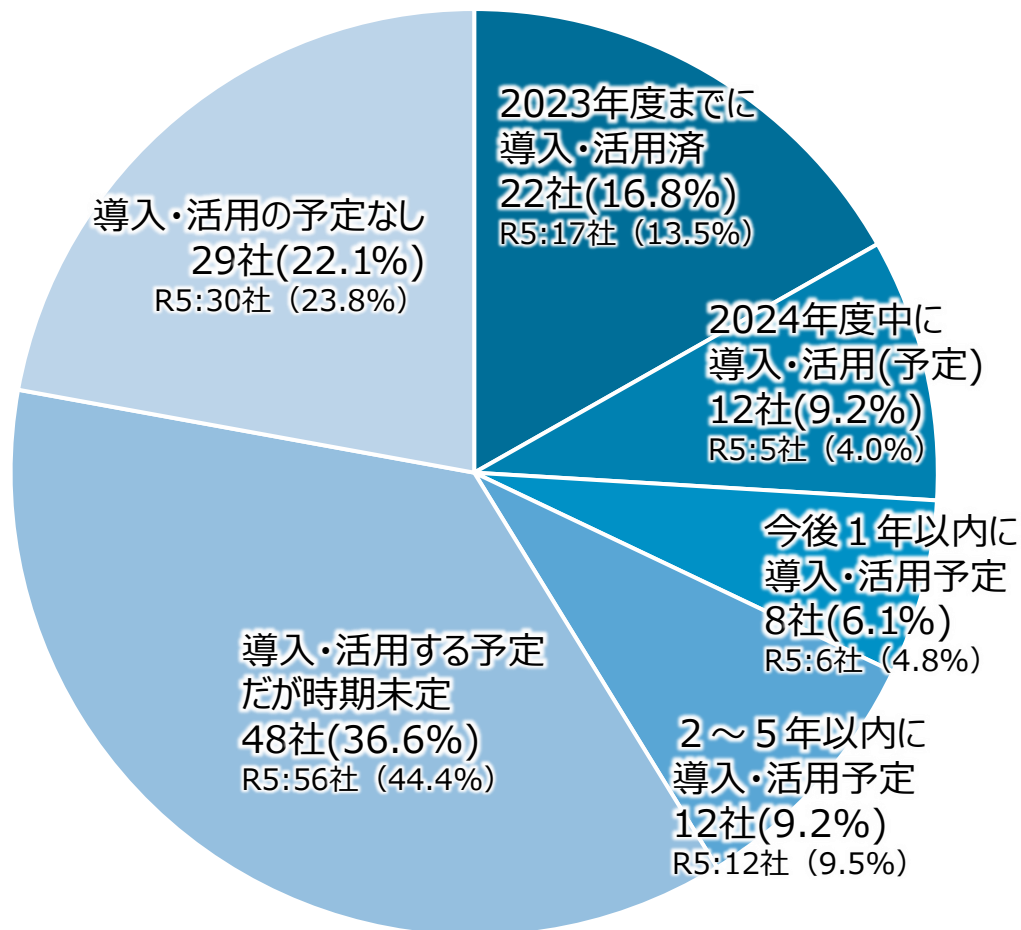
II-問1 IoTの導入・活用の状況についてお答えください

III-問1 AIの導入・活用状況についてお答えください

◆IoTの導入・活用状況



◆AIの導入・活用状況



- ・今年度までにIoTを導入・活用する企業は44.3%で前回調査時（38.1%）より6.2ポイント上昇
- ・今年度までにAIを導入・活用する企業は26.0%で前回調査時（17.5%）より8.5ポイント上昇

II-問2 問1で「2023年度までに既に導入・活用済み」
「2024年度に導入」とお答えされた方にお聞きします。
IoTの導入・活用を通じて、どの段階を実現したかをお答えください
(あてはまるもの1つをお選びください)

	全体
回答者数(n)	58社
①IoTを導入し、「可視化」を実現した	32社(55.2%)
②IoTを導入し、「データ活用」を実現した	12社(20.7%)
③IoTを導入し、「データ活用」を実現し、事業利益に貢献した	10社(17.2%)
④その他	4社(6.9%)

II－問3 問1で「2023度までに既に導入・活用済み」
「2024年度に導入」とお答えされた方にお聞きします。
現在IoTをどのように活用しているかお答えください。
（あてはまるもの全てお選びください）

※赤字は上位3項目

	全体
回答者数 (n)	58社
①生産稼働状況や作業時間の適性把握等による生産管理の向上	34社 (58.6%)
②生産設備の故障・劣化への早期・予兆発見等による設備保全費用の削減	13社 (22.4%)
③工程別進捗状況のリアルタイム把握による進捗管理の向上による省人化	22社 (37.9%)
④製品（商品）や部品（材料）在庫の可視化による在庫管理の向上による省人化	11社 (19.0%)
⑤製造精度の向上や製造条件の安定化による生産性向上	5社 (8.6%)
⑥トレーサビリティ確保や品質検査自動化による品質確保による間接費削減	8社 (13.8%)
⑦手書き書類作成やデータ入力、手待ち時間短縮に資する作業効率化による省人化	22社 (37.9%)
⑧技能継承（脱属人化）による事業継続、人手不足対応	7社 (12.1%)
⑨新商品・新サービスの創出による売上向上	6社 (10.3%)
⑩その他	5社 (8.6%)

II-問4 問1で「導入・活用する予定」とお答えされた方にお聞きします。IoTをどのように活用する予定かお答えください。
(あてはまるもの全てお選びください)

※赤字は上位3項目

	全体
回答者数 (n)	48社
①生産稼働状況や作業時間の適性把握等による生産管理の向上	30社 (62. 5%)
②生産設備の故障・劣化への早期・予兆発見等による設備保全費用の削減	14社 (29. 2%)
③工程別進捗状況のリアルタイム把握による進捗管理の向上による省人化	29社 (60. 4%)
④製品（商品）や部品（材料）在庫の可視化による在庫管理の向上による省人化	16社 (33. 3%)
⑤製造精度の向上や製造条件の安定化による生産性向上	11社 (22. 9%)
⑥トレーサビリティ確保や品質検査自動化による品質確保による間接費削減	13社 (27. 1%)
⑦手書き書類作成やデータ入力、手待ち時間短縮に資する作業効率化による省人化	33社 (68. 8%)
⑧技能継承（脱属人化）による事業継続、人手不足対応	12社 (25. 0%)
⑨新商品・新サービスの創出による売上向上	10社 (20. 8%)
⑩その他	0社 (0. 0%)

II-問5 問1で「導入・活用する予定」とお答えされた方にお聞きします。IoTの導入を進めるにあたりどのようなことが課題と考えますか。（特に課題だと考えるもの3つまでお選びください）

※赤字は上位3項目

	全体	経営者	管理職	実務担当者
回答者数(n)	48社	15社	23社	10社
①経営者層の理解	15社(31.3%)	4社(26.7%)	6社(26.1%)	5社(50.0%)
②現場層の理解	21社(43.8%)	9社(60.0%)	9社(39.1%)	3社(30.0%)
③自社の業務改善などの課題の把握・抽出	21社(43.8%)	5社(33.3%)	13社(56.5%)	3社(30.0%)
④取得したデータの分析・活用方法の検討	14社(29.2%)	4社(26.7%)	6社(26.1%)	4社(40.0%)
⑤IoT導入事例の収集	5社(10.4%)	2社(13.3%)	2社(8.7%)	1社(10.0%)
⑥センサー・システム・クラウド等IoT機器の情報収集	6社(12.5%)	1社(6.7%)	4社(17.4%)	1社(10.0%)
⑦相談できる企業や専門家の確保	5社(10.4%)	2社(13.3%)	3社(13.0%)	0社(0.0%)
⑧自社のIoT活用人材の確保・育成	21社(43.8%)	8社(53.3%)	10社(43.5%)	3社(30.0%)
⑨導入費用の確保	16社(33.3%)	6社(40.0%)	5社(21.7%)	5社(50.0%)
⑩その他	0社(0.0%)	0社(0.0%)	0社(0.0%)	0社(0.0%)

**II-問6 問1で「活用する予定はない」とお答えされた方にお聞きします。その理由についてお答えください。
(あてはまるもの1つをお選びください)**

※赤字は上位3項目

	全体
回答者数 (n)	25社
①IoT導入の必要性を感じていない	14社 (56.0%)
②IoTの導入方法が分からない	1社 (4.0%)
③IoT導入の資金的余裕がない	2社 (8.0%)
④自社のIoT導入人材が不足している	2社 (8.0%)
⑤IoTが何か分からない (IoTの明確な定義・具体的なメリットがわからない)	2社 (8.0%)
⑥その他	4社 (16.0%)

II-問7 IoTの導入に向けて、富山県IoT推進コンソーシアムや県に対して求める支援についてお答えください。 (特に必要と考えるもの3つまでお選びください)

※赤字は上位3項目

	全体	経営者	管理職	実務担当者
回答者数(n)	131社	38社	62社	31社
①セミナー・講演会・勉強会	60社(45.8%)	13社(34.2%)	34社(54.8%)	13社(41.9%)
②導入事例の普及	63社(48.1%)	18社(47.4%)	31社(50.0%)	14社(45.2%)
③IoT技術・ツール等の詳細な講座	39社(29.8%)	13社(34.2%)	17社(27.4%)	9社(29.0%)
④企業訪問・視察	47社(35.9%)	14社(36.8%)	21社(33.9%)	12社(38.7%)
⑤会員企業間の交流	14社(10.7%)	4社(10.5%)	6社(9.7%)	4社(12.9%)
⑥相談窓口の設置・充実	6社(4.6%)	2社(5.3%)	2社(3.2%)	2社(6.5%)
⑦専門家の派遣・指導	11社(8.4%)	3社(7.9%)	7社(11.3%)	1社(3.2%)
⑧自社の人材育成への支援	24社(18.3%)	7社(18.4%)	10社(16.1%)	7社(22.6%)
⑨導入費用の支援	57社(43.5%)	20社(52.6%)	20社(32.3%)	17社(54.8%)
⑩その他	2社(1.5%)	1社(2.6%)	1社(1.6%)	0社(0.0%)

Ⅲ-問2 AIを活用して、何を実現されているか、もしくは何を実現したいかをお答えください。（あてはまるもの全てお選びください）

※赤字は上位3項目

	全体
回答数(n)	102社
①機械等へのセンサ取付による予知保全	27社(26.5%)
②売上実績等の社内データ・気候等の外部データの分析による需要予測・在庫最適化	25社(24.5%)
③文字認識（AI-OCR）・RPAによる受注、調達、請求、支払等の経理関連業務効率化	52社(51.0%)
④データに基づく販促（購買データ解析と個人向け販促）による販売費用減・売上増	18社(17.6%)
⑤画像認識による不良箇所自動検出を通じた検品作業効率化（外観検査）	40社(39.2%)
⑥リアルタイム交通状況を反映したデータ分析に基づく運送ルート・積載計画最適化	8社(7.8%)
⑦図面、形状から類似の図面・形状を検索する類似画面検索	26社(25.5%)
⑧その他	22社(21.6%)

Ⅲ-問3 AIの導入を進めるにあたりどのようなことが課題と考えますか。（特に課題と考えるもの3つまでお選びください）

※赤字は上位3項目

	全体	経営者	管理職	実務担当者
回答者数(n)	131社	38社	62社	31社
①経営者層の理解	47社(35.9%)	6社(15.8%)	25社(40.3%)	16社(51.6%)
②現場層の理解	56社(42.7%)	15社(39.5%)	30社(48.4%)	11社(35.5%)
③AI導入事例の収集	53社(40.5%)	19社(50.0%)	25社(40.3%)	9社(29.0%)
④AIシステム等の情報収集	32社(24.4%)	13社(34.2%)	13社(21.0%)	6社(19.4%)
⑤相談できる企業や専門家の確保	25社(19.1%)	8社(21.1%)	12社(19.4%)	5社(16.1%)
⑥自社のAI活用人材の確保	64社(48.9%)	15社(39.5%)	34社(54.8%)	15社(48.4%)
⑦導入費用の確保	50社(38.2%)	16社(42.1%)	17社(27.4%)	17社(54.8%)
⑧その他	2社(1.5%)	1社(2.6%)	1社(1.6%)	0社(0.0%)

Ⅲ-問4 AIの導入に向けて、富山県IoT推進コンソーシアムや県に対して求める支援についてお答えください。 (特に必要と考えるもの3つまでお選びください)

※赤字は上位3項目

	全体	経営者	管理職	実務担当者
回答者数(n)	131社	38社	62社	31社
①セミナー・講演会・勉強会	67社(51.1%)	15社(39.5%)	37社(59.7%)	15社(48.4%)
②導入事例の普及	64社(48.9%)	16社(42.1%)	32社(51.6%)	16社(51.6%)
③AI技術・ツール等の詳細な講座	40社(30.5%)	12社(31.6%)	20社(32.3%)	8社(25.8%)
④企業訪問・視察	38社(29.0%)	12社(31.6%)	20社(32.3%)	6社(19.4%)
⑤会員企業間の交流	15社(11.5%)	4社(10.5%)	6社(9.7%)	5社(16.1%)
⑥相談窓口の設置・充実	4社(3.1%)	3社(7.9%)	1社(1.6%)	0社(0.0%)
⑦専門家の派遣・指導	15社(11.5%)	4社(10.5%)	8社(12.9%)	3社(9.7%)
⑧自社の人材育成への支援	26社(19.8%)	8社(21.1%)	12社(19.4%)	6社(19.4%)
⑨導入費用の支援	59社(45.0%)	22社(57.9%)	21社(33.9%)	16社(51.6%)
⑩その他	0社(0.0%)	0社(0.0%)	0社(0.0%)	0社(0.0%)

IV-問1 これまでに富山県IoT推進コンソーシアム及び県等が実施している取組みについてお答えください。（あてはまるものをお選びください。）

◆県及びIoT推進コンソーシアムの取組

※赤字は一番多い項目

		全体	経営者	管理職	実務担当者
回答者数 (n)		131社	38社	62社	31社
①IoT推進 コンソーシアム 全体会	参加したことがある	47社 (35.9%)	15社 (39.5%)	22社 (35.5%)	10社 (32.3%)
	知っているが、参加したことはない	49社 (37.4%)	20社 (52.6%)	21社 (33.9%)	8社 (25.8%)
	知らない	35社 (26.7%)	3社 (7.9%)	19社 (30.6%)	13社 (41.9%)
②共有型とやま ものづくりIoT プラットフォーム	活用したことがある	10社 (7.6%)	6社 (15.8%)	1社 (1.6%)	3社 (9.7%)
	知っているが、活用したことはない	64社 (48.9%)	19社 (50.0%)	31社 (50.0%)	14社 (45.2%)
	知らない	57社 (43.5%)	13社 (34.2%)	30社 (48.4%)	14社 (45.2%)
③富山県中小企業 トランスフォー メーション補助金	活用したことがある	35社 (26.7%)	15社 (39.5%)	15社 (24.2%)	5社 (16.1%)
	知っているが、活用したことはない	64社 (48.9%)	20社 (52.6%)	30社 (48.4%)	14社 (45.2%)
	知らない	32社 (24.4%)	3社 (7.9%)	17社 (27.4%)	12社 (38.7%)
④デジタル化 相談窓口	活用したことがある	4社 (3.1%)	0社 (0.0%)	2社 (3.2%)	2社 (6.5%)
	知っているが、活用したことはない	69社 (52.7%)	26社 (68.4%)	33社 (53.2%)	10社 (32.3%)
	知らない	58社 (44.3%)	12社 (31.6%)	27社 (43.5%)	19社 (61.3%)

Ⅳ-問2 問1で「知っているが、参加（活用）したことはない」を選択した事業について、その理由を具体的にご記入ください。

◆IoT推進コンソーシアム全体会

- ・現時点で優先順位が低い。
- ・多忙なため、なかなか参加できない。
- ・タイミングがあわない。

◆共有型とやまものづくりIoTプラットフォーム

- ・自社で取り入れる予定がない。
- ・自社で開発しており、必要がない。
- ・利用の仕方がよくわからない。

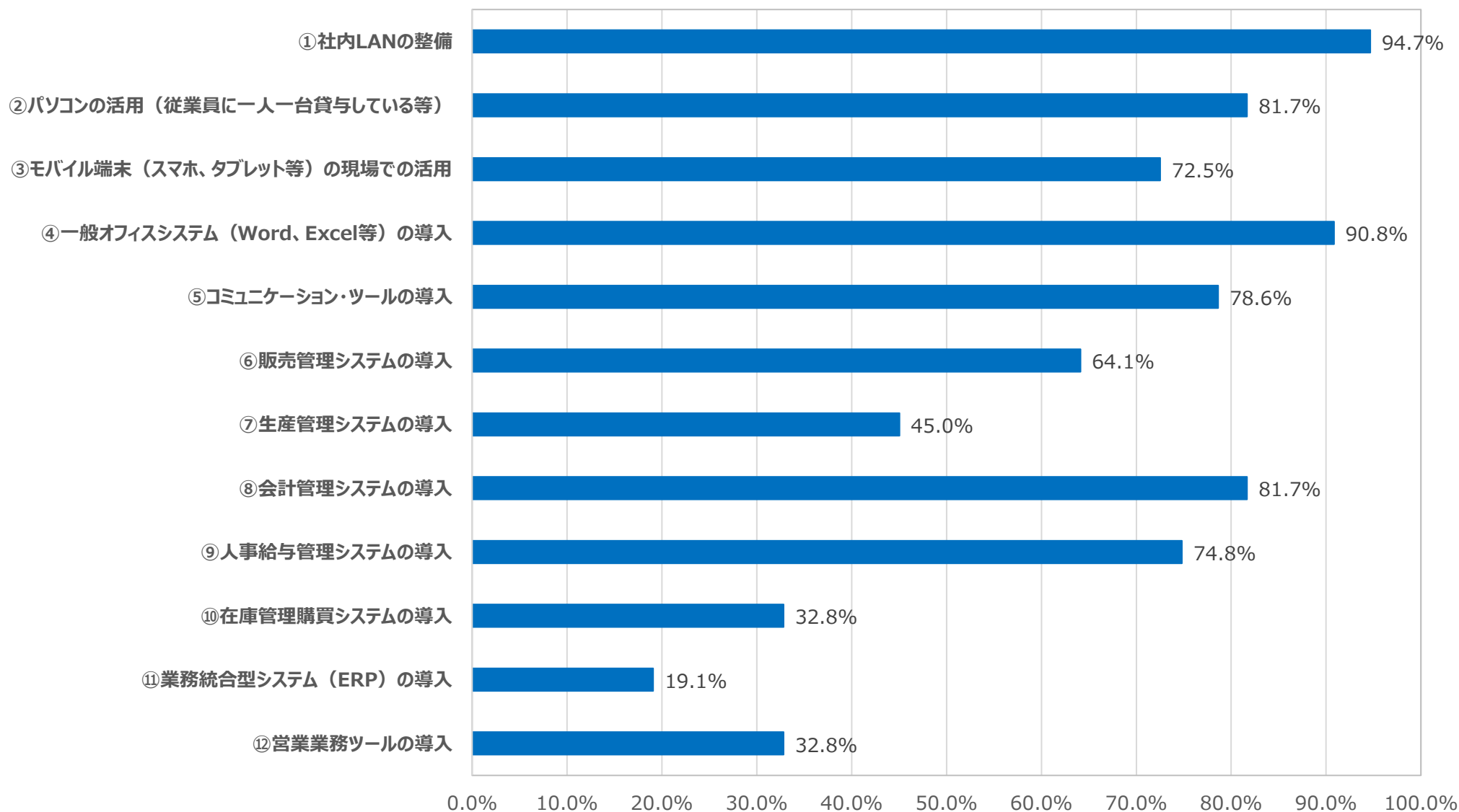
◆富山県中小企業トランスフォーメーション補助金

- ・申請したいが担当者がいないため活動が進まず、知見も含めて任される人がいない。
- ・必要なタイミングで申請を受け付けていない。
- ・まだ具体的に、何をすべきなのかが定まっていない。

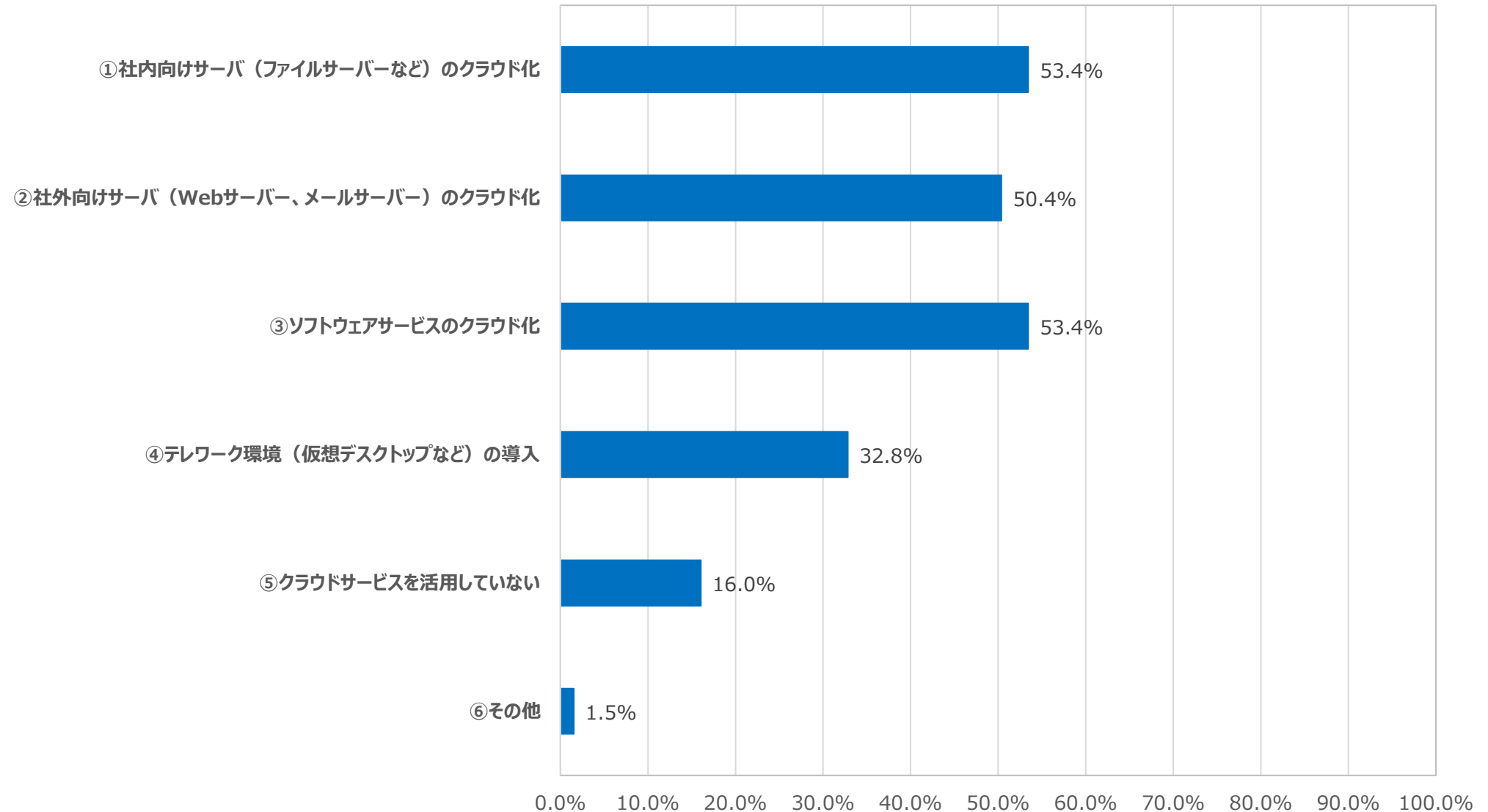
◆デジタル化相談窓口

- ・社内の具体的な構想が進んでおらず、何を聞きたいかが絞り込めていない。
- ・ITの専門家に相談する案件の場合、経営者の人脈の関係に頼っている。
- ・グループ会社間における情報共有の中で、相談が出来る。
- ・これから相談したいと考えている。

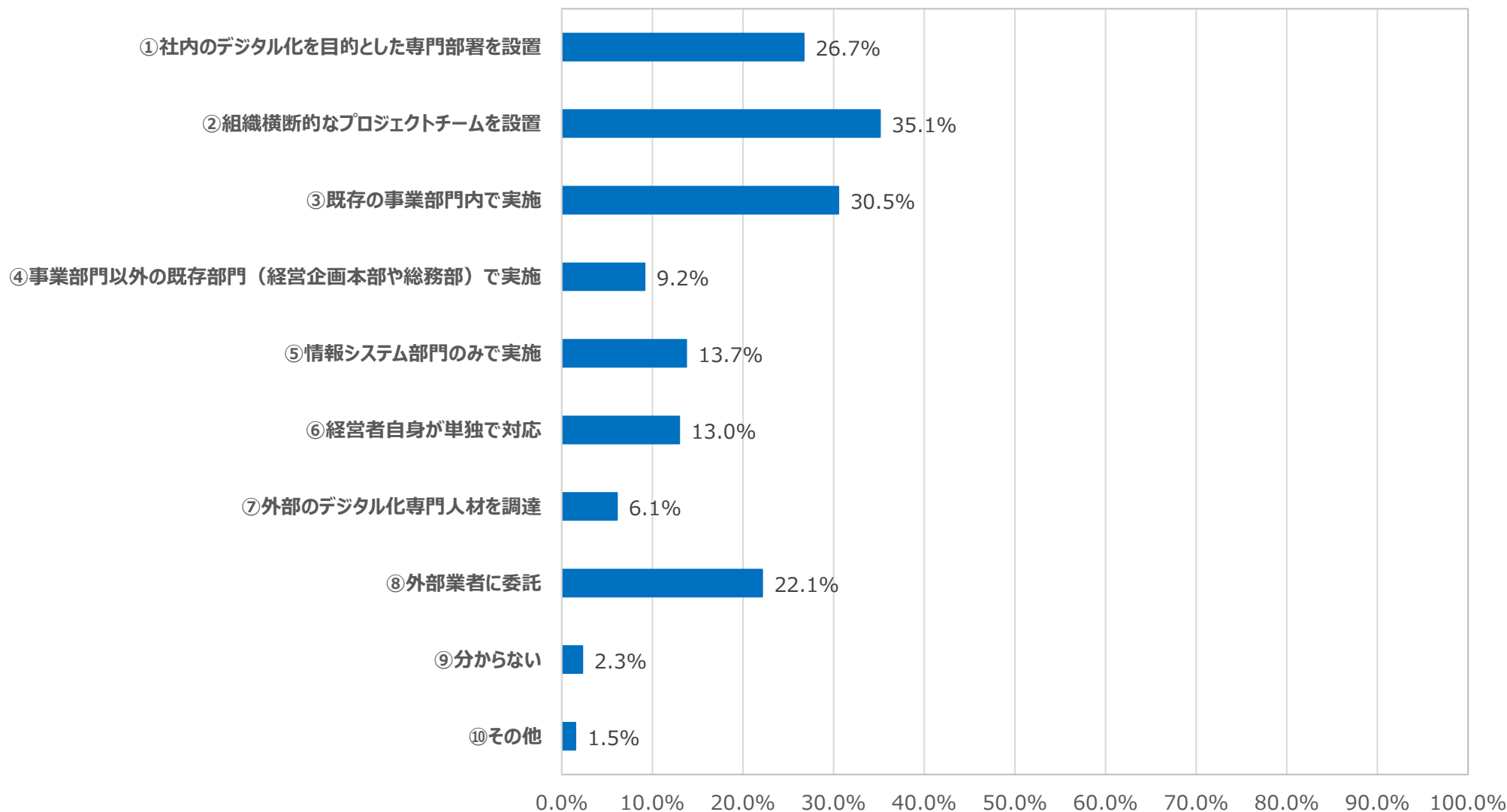
V-問1 貴社の現在のITの利活用（デジタル化）状況についてお答えください。（あてはまるもの全てお選びください）



V-問2 貴社におけるクラウド活用状況についてお答えください。 (あてはまるもの全てお選びください)



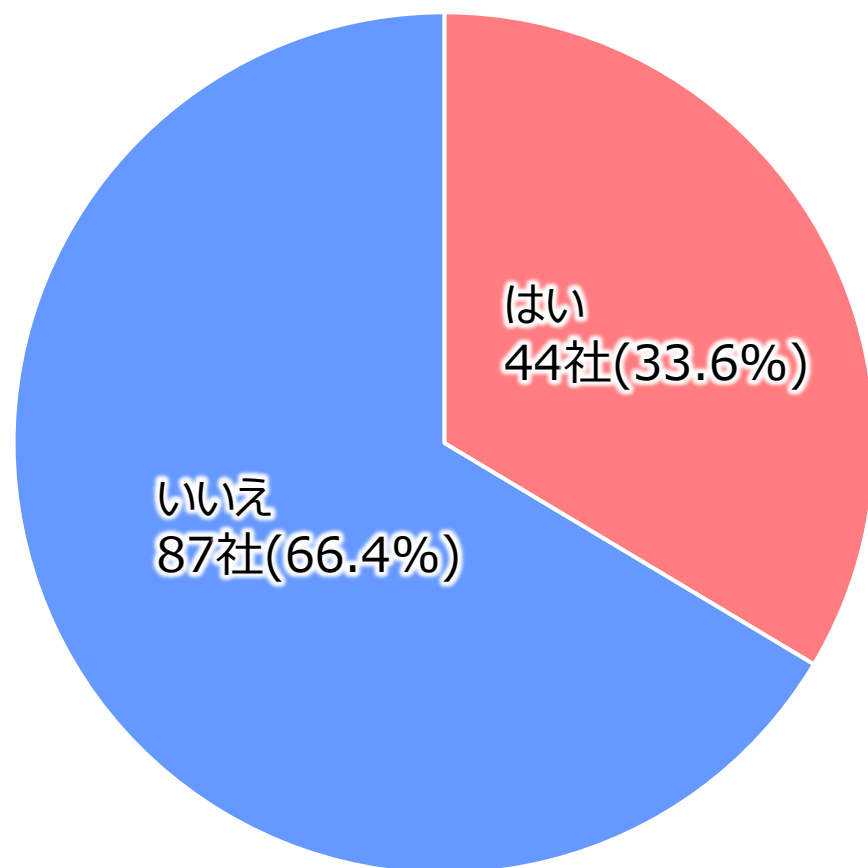
V-問3 貴社のデジタル化やIoT・AI、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進体制についてお答えください。 （あてはまるもの全てお選びください）



V-問4 貴社において、社内のIT化を進める人材を計画立てて育てていますか。

V-問5 問4において「はい」と回答された方にお聞きします。貴社で策定しておられる計画の内容について具体的にご記入ください。

◆IT化を進める人材の育成計画について



◆「はい」と答えた企業の具体的回答

- ・Microsoft365を活用したノーコード・ローコードツールによる業務プロセスDXの推進
- ・外部の専門会社のDX講習を受講
- ・セミナーの参加、業務を通じた社内システムの理解、外部人材による講座やセミナーの聴講等
- ・管理職及び現場リーダー全員に対し、DX推進のための教育の計画、実施
- ・関連部署での初期教育
- ・DX戦略を策定し、目指す人材像を明確化、DXコア人材、DX推進人材、DX活用人材と階層別に教育を実施
- ・各部署に対し、計画的にDX資格の取得を促進

**V-問6 問4において「いいえ」と回答された方にお聞きします。計画を策定しておられない理由についてお答えください。
(特に当てはまるものを最大3つまでお選びください)**

※赤字は上位3項目

	全体
回答数(n)	87社
①計画を立てるための人的余裕がない	63社(72.1%)
②計画を立てるための金銭的余裕がない	17社(19.5%)
③どうやって計画を立てたらよいかわからない	21社(24.1%)
④昔は計画を立てていたが、人材が育たなかったのでやめた	3社(3.4%)
⑤昔は計画を立てていたが、育てた人材が転職してしまったのでやめた	6社(6.9%)
⑥信頼できるITベンダーがおり、必要性を感じない	5社(5.7%)
⑦親会社(取引先)がすべて手配してくれるので、必要性を感じない	0社(0.0%)
⑧特に理由はないが必要性を感じない	5社(5.7%)
⑨その他	8社(9.2%)

VI その他ご意見等がございましたらご記入ください

- ・DX人材の育成に力を入れていきたいが、理想に対してどこまで進めていけるかのステップの範囲を決めることが難しい。ERP等、何千万もするものに対して人的経費を減らしていけるか？要領は良くなるか？利益を生み出せるか？など本当に進めてよいかの判断がつきにくい。
- ・富山県は製造業の割合が多いためかもしれないが、製造業や大企業向けの施策が多いように思われる。
- ・日本版IoTを本気で行おうとするならば、前途多難だと思う。昔はシステムデザイナーというアナリストやプログラマーを育てる人が少し居り、あらゆるプロトコルや各種機器類に通じ、各種法律・各種業界での業務についても非常に詳しく知っていた。その為、顧客満足度は現在と比し、高かった。ただ、そういう人は非常に少なく、現在はほぼいないため、残念ながら表面的なIoTのみが流行ることになると思う。
- ・医療・福祉業界向けの活動を充実してほしい。
- ・システム改修やシステムインフラの構築には費用がかかるにもかかわらず、ネットワークを構築する設備の導入やサーバーなど高額な設備を対象とした税制優遇措置を受けにくい。また年度区切りで助成金の手続きを完了させたい行政の施策が多く、プロジェクトを分割させざる負えない不便さがある。IT補助金の対象がパッケージ商品を中心とした補助であることや、申請手続きのハードルが高く時間もかかり、政府が推進する割には制度が分かりにくく使いにくい。物品の購入だけでなくネットワーク環境や保守等もランニングコストが高く、毎月の経費負担が大きいことへの支援がない。セキュリティを高めにくい要因の一つだと思う。